

標 題 | いかにして営農戦略を立てるか～新規就農者交流会を開催～

(ダイジェスト)

令和2年2月4日、邑南町の古民家を改装したレンタルスペースにて、川本町、美郷町及び邑南町在住の就農に向けた研修生や新規就農者、指導農業士が一堂に会し、相互交流を図る新規就農者交流会を開催しました。

邑智郡の各町では担い手の高齢化などにより生産者が減少しており、新規就農者の確保・育成に向けた取組が行われています。

そんな中、研修生や新規就農者は、栽培技術はもちろんのこと、販路拡大など多岐に渡る課題に悩まされることがあり、ひとりではなかなかよい答えが出せない場面がありました。

そこで県内の新規就農者から営農戦略を学び、自身の営農の方向性を考え、また将来悩みなどを共有し助け合う仲間作りの場を提供することを目的に、邑智郡農林業振興協議会主催、邑南町農業再生協議会・邑智郡農業士会・JAしまね島根おおち地区本部の共催で新規就農者交流会を開催しました。

当日は邑智郡内の自営新規就農者や研修生、指導農業士の22名に加え、関係機関からも多数の参加があり、大変賑やかな会として始まりました。

内容は昨年同様、就農5年目をむかえた2名による事例発表、(株)うちの子も夢中です代表取締役の大塚一貴氏による講演、意見交換会の3本立てで行いました。

事例発表では5年間の苦楽、将来目指す農業などが発表され、講演では農産物のブランディング戦略と販路開拓についてお話いただきました。

意見交換会では参加者を4班に分け、座談会形式で栽培技術や労働力不足等、今抱えている課題を話し合い、大塚氏にアドバイスをもらう形式としました。各班とも真剣に議論され、予定していた時間を延長してもなお続いている状態となりました。

また夜には懇親会を開催し、関係機関含め16名が参加され、参加者同士では場見学の依頼をされるなど、今回の交流会で縁が結ばれた様子が見られました。

今後とも普及部では新規就農者や研修生が営農しやすい環境作り等、新規自営就農者の確保・育成に取り組んでいきます。



↑講演の様子 ↓意見交換の様子

